

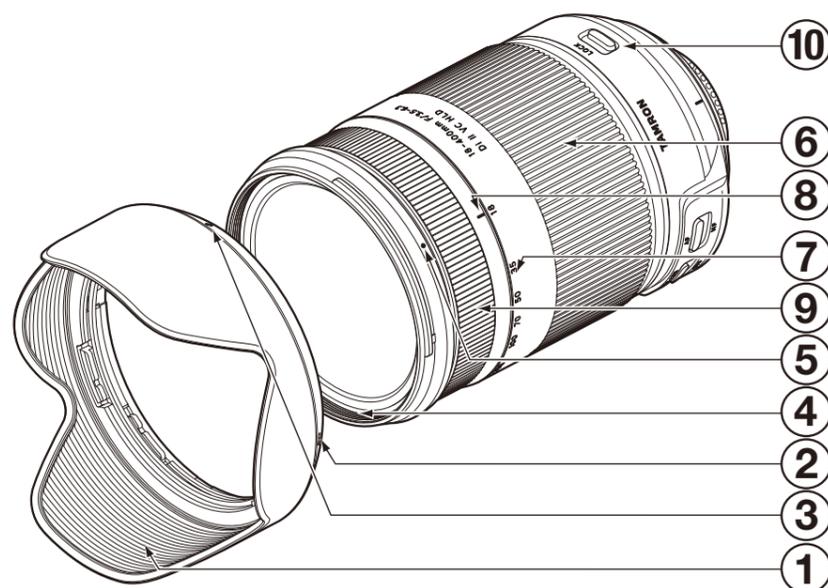
TAMRON

取扱説明書

18-400mm F/3.5-6.3 Di II VC HLD

(ニコン用、キヤノン用)

Model: B028



各部の名称

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| ① レンズフード | ⑥ ズームリング | ⑪ レンズ取付指標 |
| ② フード取付指標 | ⑦ 焦点距離目盛 | ⑫ VCスイッチ |
| ③ フード固定指標 | ⑧ 焦点距離指標 | ⑬ AF・MF切替スイッチ |
| ④ フィルター取付リング | ⑨ フォーカスリング | ⑭ 信号接点 |
| ⑤ フード着脱指標 | ⑩ ズームロックスイッチ | |

カメラへの取り付け・取り外し

レンズの後キャップを外し、レンズ取付指標⑪とカメラ側のマウント指標を合わせてはめ込みます。レンズを時計回り(ニコンの場合は反時計回り)にカチリとロックがかかるまで回します。取り外すときは、カメラ側のレンズ取り外しボタンを押しながら、取り付け時とは逆回りに回して取り外します。

- 注意**
- カメラの電源OFFの状態で行ってください。
 - キヤノンのカメラは、カメラのEFレンズ用指標(赤丸)に合わせて下さい。

- 参考**
- 詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。

レンズフードについて

バヨネット式レンズフードが標準装備されています。描写に悪影響を及ぼす画角外の余分な光線をカットするため、正しく装着して撮影することをお勧めいたします。

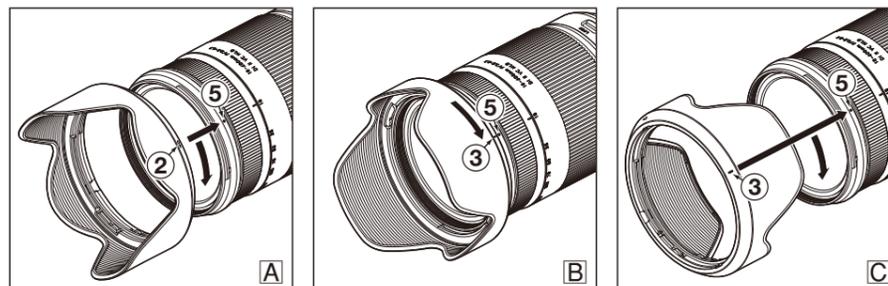
■ 使用時(図A、B)

レンズ側のフード着脱指標⑤にフード側のフード取付指標②を合わせます。フード着脱指標⑤にフード固定指標③が合うまでフードを矢印の方向に回します。

■ 収納時(図C)

フードを逆向きに取り付けることで、収納することができます。レンズ側のフード着脱指標⑤にフード側のフード固定指標③を合わせます。フード着脱指標⑤にフード取付指標②が合うまでフードを矢印の方向に回します。

- 注意**
- フードが正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレが生じますのでご注意ください。



●本文中のマークについて

- 注意** 不都合が生じる恐れがある注意事項が書かれています。
- 参考** 基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書かれています。

主な仕様

モデル名	B028		
焦点距離	18-400mm	フィルター径	φ72mm
明るさ	F/3.5-6.3	長さ	121.5mm*
画角(対角)	75°33'~4°	最大径	φ79mm
レンズ構成	11群16枚	質量	705g*
最短撮影距離	0.45m	レンズフード	HB028
最大撮影倍率	1:2.9(400mm時)		

*の数値はニコン用のものです。長さ:レンズ先端からマウント面までの距離。ライブビュー撮影では、条件によって最短撮影距離が変わる場合があります。仕様・外観は、お断りなく変更する場合があります。

VC機構について

VC(Vibration Compensation)は、手持ちで撮影した際に起こる手ブレを補正する機構です。

■ VCの使い方(図D)

VCを使用する際は、VCスイッチ⑫をONにしてください。シャッターボタンを半押しした後、ファインダー像が安定するのを確認してから撮影してください。

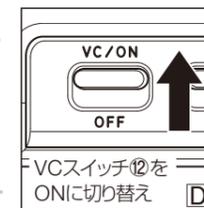
● VCは以下のような状況下で有効です

- 薄暗い場所
- ストロボ撮影が禁止されている場所
- 足場が不安定な場所

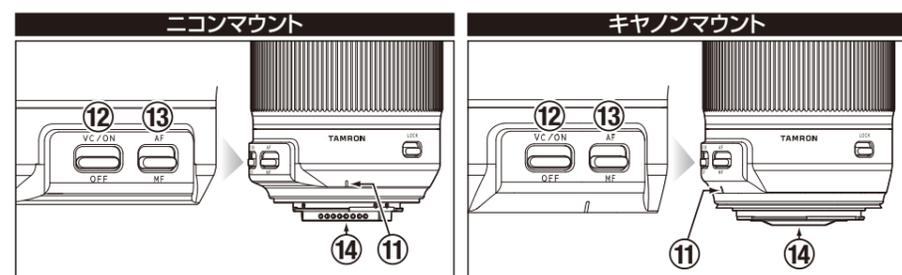
● 次のような状況では、VCが十分に作動しない場合があります

- 大きく揺れ動く乗り物から撮影するとき
- カメラを大きく動かしながらの撮影
- 三脚を使用して撮影するとき
- バルブ(長時間露出)撮影の際には、VCスイッチをOFFにしてください。VCが誤作動を起こす場合があります。

- 注意**
- VCの原理上、シャッターボタンを半押しした直後、ファインダー像がゆれる事がありますが故障ではありません。
 - VCスイッチをONで使用する場合、カメラの電源を消費するため撮影可能枚数は少なくなります。
 - 三脚を使用するなど、手持ち以外で固定して撮影するときは、VCスイッチをOFFにしてください。
 - VCが作動中はレンズを取り外さないでください。VC作動中に外してしまった場合、レンズを振るとカタカタと音がする事がありますが、故障ではありません。レンズをカメラに装着し、カメラの電源をONにすると音は消えます。
 - 内蔵フラッシュ搭載のカメラで、内蔵フラッシュ充電中はVCがOFFになります。(ニコン用のみ)



マウント部

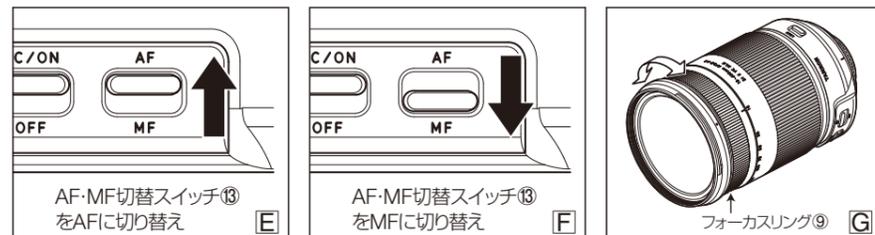


フォーカスモードの切り替え

オートフォーカス(AF)で撮影するときは、AF・MF切り替えスイッチ⑬をAFにします。(図E)
マニュアルフォーカス(MF)で撮影する場合は、AF・MF切り替えスイッチ⑬をMFにし、フォーカスリングを
手で回してピントを合わせます。(図F、G)

- AFモードに設定されている時に、フォーカスリング⑨を無理に手でまわすとレンズ内部の機構を破損する恐れがあります。
- AF撮影時、被写体によってはAFが合いにくい場合があります。

- 詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。



ズーミング

ファインダーをのぞきながらズームリング⑥を回し、作画イメージに合う焦点距離にセットして撮影いたします。

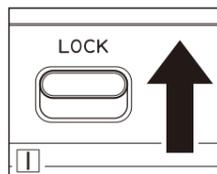


ズームロック機構

ズームリングを焦点距離18mmの位置で回転しないように固定することができます。

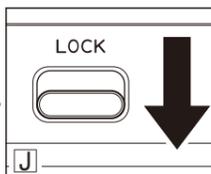
■ズームロック

焦点距離目盛⑦の18mmを、焦点距離指標⑧に合わせます。
ズームロックスイッチ⑩をLOCK側にずらします。



■ズームロック解除

ズームロックスイッチ⑩をカメラ側にずらします。



- ズーミングする時は、ズームロックを解除してズームリングをまわしてください。

DiIIレンズはデジタル一眼レフカメラの諸特性に配慮した光学設計を行っておりますが、デジタル一眼レフカメラとの組合せにおいて、AF撮影時、撮影条件によりまして、レンズ側のAF合焦精度が仕様内でも、ピント位置がわずかに前あるいは後になる場合がございます。

撮影時のご注意

- 最短撮影距離を実現するために、インターナルフォーカス方式を採用しています。このため、無限遠に満たない撮影距離で撮影した場合、他のフォーカス方式を採用しているレンズに比較して、撮影範囲が広くなります。

- カメラの内蔵ストロボを使ってフラッシュ撮影される場合は、フードやレンズ本体によるケラレが出るので、フードは必ず外してください。近距離での撮影では、レンズ本体がストロボ光を遮って、レンズフードを使わなくても画面下部に半円形のケラレが出る場合があります。フラッシュ撮影では、外部着脱式の専用ストロボのご使用をおすすめします。

- カメラの表示システムの違いにより、開放F値、及び最小F値が仕様と異なった値で表示される場合がありますが、異常ではありません。

- ミラーレス一眼カメラでの使用は保証外となります。

長くご使用いただくために

- レンズ面についたゴミや汚れは、プロアーで吹き飛ばすか柔らかいハケで取り除いてください。レンズ面は指で触れないようにしてください。

- レンズ面に指紋や油がついたときは、市販のレンズクリーニングペーパー、よく洗った木綿の布やマイクロファイバークロス(眼鏡などの専用清掃布)に、レンズクリーナーをしみこませて、レンズ面の中心部から軽く拭き取ってください。シリコンクロスは使わないでください。

- 鏡筒部はシリコンクロスで清掃してください。ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。

- カビはレンズの大敵です。風通しがよく、ゴミやホコリの少ない場所に保管してください。ケースに入れて保管する場合は、市販の乾燥剤を入れ、時々交換してください。

- レンズの信号接点には、指を触れないようにしてください。ホコリや汚れなどによって接触不良になると、レンズとカメラ間の信号の伝達が正しく行われなくなり、誤作動の原因になります。

- 温度が急激に変化すると、カメラ及びレンズ内部に水滴が生じ、故障の原因となります。ビニール袋などで密封し、周囲の温度になじませてから取り出してご使用ください。

製品保証およびアフターサービス

- ご購入日より1年間の保証期間経過後の修理は有料となります。なお、運賃諸掛はお客様にてご負担願います。
- 本製品の修理用性能部品は生産終了後7年を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。
- 修理品をご送付の場合は、書面にて修理依頼箇所を明確にご指示のうえ、十分に梱包してお送りください。



タムロンレンズ お客様相談窓口 ナビダイヤル

0570-03-7070 ※一般電話から市内電話料金にてご利用いただけます。

受付時間：平日9:00～17:00(土日・祝日・弊社指定休業日は除く)

ナビダイヤルをご利用できない場合は**048-684-9889**におかけください。

FAXでのお問い合わせは**048-689-0538**に送信ください。

東京修理受付窓口：〒110-0005 東京都台東区上野6丁目16番22号 上野TGビル3階
TEL 03-5817-7210 FAX 03-3837-1790